

★厚生労働省は18日の社会保障審議会介護保険部会で、特別養護老人ホーム入所者を「中重度(要介護3)」以上に限定し、要介護1と2を外す案を提示しました。介護費用の削減を理由に日常の生活能力が低下している高齢者を施設から締め出すもので、審議会では強く反対する意見が相次ぎました。

旗 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代180
Tel 33-6118

【文化会館屋上展望施設整備】

いま、必要なことなのか？

九月市議会に、「チューリップタワーの混雑解消と、より多くの人にチューリップの地上絵を見てもらうため」として、文化会館の南北に階段をつけ、二階の休憩所(ホワイエ)の屋上を活用すること(補正予算で五千万円)が提案されています。新幹線がらみで観光施設整備に県の半額補助があるとのことですが、それでも一般財源から二千五百万円。

『財政が厳しい』というなか、この展望施設整備は本当にいま必要なことなのか? 「展望場所より花生産者や地域

また、今回の補正予算は屋上部分のみで、バリアフリー化については見込まれず、様子を見てのことです。

副市長は、「来年四月から文化振興会と花と緑の財団を一本化した」といふ思いもある中で、そちらの会計で整備していただく」として、来年のチューリップフェアには整備したかたちにしたくなりました。ところでいま、チュー

リップ公園の再整備に関して、検討委員会がもたれ、市民へのアンケートもととりくまれているところですが、さまざまな角度からの意見をよくきいてすすめることが大切です。今回の補正予算で急いで着手しなければならぬ事業とはいええないと考えます。文化振興会と花と緑の財団の一本化も、性格の異なる組織ですから、なので慎重にすすめるべきです。行政改革の名の下で単なる人べらしになつてはいけません。

硝子、黄銅棒、種もみ...

【あるぞ! 砺波発のトップシェア商品】



市議会産業建設常任委員会では話題が出ていたので紹介します。砺波市のHPで、ものづくりの砺波市として全国に誇れる企業が紹介されています。現在、「曲げガラス」と「樹脂合わせガラス」と「新光硝子工業株式会社」「黄銅棒事業」のサンエツ金属が紹介されています。今後継続予定とのこと。面白いとくみだと思えます。

赤旗日曜版を読んで

(九月十五日号)

五輪興奮の違和感 35面

「興奮状態の中で見捨てられるかもしれない被災者と国民生活。いつも犠牲になるのは国民という『犠牲のシステム』が、ここからまた始まるような予感です」と記事にありました。私と同じようなことを感じます▼安倍首相の「原発汚染水ブロック」発言には、海外からも批判が相次ぎ、福島危機は国際問題化しており、日本任せにせず国際管理下に置くべきとの指摘が各国から出ているそうです。当然でしょう▼市田書記局長は「スポーツを通じて国際平和と友好を促進するオリンピック精神の実現に努めることが重要」と話されています。その本質から外れたところで浮かれてはいけないと思います。ところで私は二〇二〇年まで生きてられるかしら? (六十代女性)

★日本共産党、民主党、日本維新の会、みんなの党、生活の党、社民党の野党6党による国会対策委員長会談が18日、国会内で開かれ、東京電力福島第1原発の汚染水問題を審議する閉会中審査の早期開催、10月中旬に予定されている臨時国会の前倒し開会などを与党に要求していくことを確認しました。

【ただのつばやき】

13日 市議会産業建設常任委員会を傍聴

15日 井上さとし参議むかえ演説会(上市町)

取材に行き、終了後、井上さん、碓井町議らと夕食をご一緒させていただきました(台風で翌日たいへんなことになるとは思いますが...)。

17日 市議会民生病院常任委員会を傍聴

18日 市議会総務文教常任委員会を傍聴

トラックが側溝に...

農民連のコメ出荷の積み込み応援。生産者の納屋から二百数十袋を運送業者のトラックに手で積み込み、「無事届けてね」と送り出そうとしたら、重さ

で右前輪が側溝の鉄板を踏み抜きスッポリはまっちゃいました! 最後まで見届けられませんでした。最後ですが、レッカーをよんで脱出したそうです。

リニア中央新幹線

オリンピックの次はリニアか! 私の生まれる前から計画があり、子どものころリニアモーターカーは未来の乗り物として雑誌などでよく見たものです。「なぜ、いま?」と思わずにいられません。日本共産党は昨年五月、「リニア新幹線の建設に反対する 東海道新幹線の地震・津波対策、大震災の鉄道復旧こそ」との見解を発表しています。

二〇二〇年オリンピックまでに部分開業というのはJRが否定していますし、いま手をつけるべきことではないと思います(ほとんどトンネルの中って、面白くないじゃないですか。子どものころ見た未来図のように透明チューブの中を走るとかできないのかしら?)。

有川浩「キケン」

という本が面白いと、妻と息子で意見が合ったというので、私も読んでみようと...ところが、なかなか読み進まない! 何故かと

いえば、描かれている世界が、自分の思い出とかぶるからだ、と。読みながら、自分の学生時代の場面が蘇るから読み進まない...

工科大学のサークル「機械制御研究部」(略称「キケン」)の話ですが、本来の部活の話はほとんどなく、恋の顛末や学祭でのラーメン売りの話など...後で振り返れば意味不明ともいえる「熱さ」学生時代ならではのものです。

物語の中では、学祭の模擬店のラーメンを五日間で一三〇万円(二千六百杯)売り上げていますが、私は仲間たちと地域から不用品を集めリサイクル市を二日間で五十万円以上売り上げたことが...

懐かしい思いをすると同時に、現在も根っここの部分では実は変わっていない自分がいることにも気づかされた作品でした。うちの大学生も楽しい学生生活を過ごしていることだろう、たぶん。

(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-33369-8216)

【続きの日記】

13日 Vサインでした。良かった!

コシヒカリの初出荷をしたのですが、その検査結果が二等だったのです。庄下球根組合の研修会に出かけると、私が今日出荷する事を知っていた仲間が、いち早く営農指導員にその検査結果を聞いてくれていて、「Vサインやったら」と教えてくれました。

早稲のてんたかくが、これまで経験した事の無いようなカメムシ被害の斑点米だらけだったので、コシヒカリがどんな事になるのか大変心配だったのです。

ドキドキしながら糺摺りをしたのですが、手の平に広げた米には、案の定、例年の輝きがありません。焦りながらチリトリにくくって並べてみると、水晶のように澄んだ粒が少なくて白い濁りを含んだものがあちこちにもこっちにもあって全体がくすんだ感じに見えます。早稲のよいなカメムシ被害では無いようですが、これまたいいようにどんな検査結果になるのだろうか、全く心配な代物でした。さらに太田の農協の集荷場所にト

ラックで運び込むと「特に早植えのコシヒカリの品質がひどくて三等以下のものが続出している」と聞かされたので、不安は増幅するばかりです。

二十年以上米作りをしていいますが米の等級についてこんな心配するとはありませんでした。もっぱら一反当たりの収量が少ない事だけを嘆いてきたのですが、昨年に胴割れ米で二等を経験してからは、品質の問題も気に懸けなくてはならなくなりました。いままでと同じ作り方をしているつもりなのですが、気候のせいにより

農協に出荷すると、検査結果がひどい時には、そのまま販売すると減茶苦茶の安値になるので「他に有利な取引先があるならそこと相談してみられますか、それともこのまま販売してもいいですか」という生産者の意向を確認する電話がかかって来ると聞いていました。夕方まで電話が無かったの、ひよつとしたらそこそこの成績で通過したのかなと淡い期待を抱いていたのですが、研修会の場で確認できたわけですから、これから刈り取るコシヒカリは大丈夫でしょうか?